

平成 29 年度 第 277 回教育研究審議会議事要録

日時 平成 29 年 10 月 17 日 (火) 13:30～14:30
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 松尾学長、柳井副学長、梶原副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、大平外国語学部長、朱経済学部長、田部井文学部長、小野法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、任マネジメント研究科長、今泉学生部長、田村教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、廣渡評価室副室長

配布資料

- 1 教員採用選考報告書(文学部)
- 2 環境技術研究所教員環境マネジメント分野、特にエネルギーマネジメント分野(平成30年4月1日採用) 選考委員会 (変更案)
- 3 学生に対する研究倫理教育の授業における実施について
- 4 平成30年度サバティカル取得申請における結果報告
- 5-1 平成28年度早期支援システム実施結果(北方キャンパス)
- 5-2 平成28年度早期支援システム(退学勧告制度)実施報告の概要【国際環境工学部】

第 1 号 教員の採用について

* 資料1のとおり、文学部人間関係学科の認知心理学担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者(松本亜紀氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 研究業績の中に同タイトルのものがあるが、ダブルカウントになっていないか。タイトルから他の報告書の総括ではないかと思われるものがあるが、どうか。
- 内容は重複しておらず、全て異なる内容であることを確認している。
- 教歴のカウントに関して、オーバードクター要件を満たすために必要な期間と教歴の開始にずれがあるが、この期間は教歴にカウントしないのか。
- 教歴開始後すぐに学会発表をしており、この期間についても高度な学術研究期間であったと判断できる。教歴換算することとし、資料を修正したい。

【議長】一部資料修正のうえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第 2 号 環境技術研究所 教員選考委員会委員の変更について

* 資料2のとおり、環境技術研究所の教員選考委員会委員の変更について提案。

- 第 271 回教育研究審議会(平成 29 年 6 月 27 日開催)で承認された教員選考委員会委員のうち 1 名について、応募者と利害関係者であったため、変更するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第 3 号 学生に対する研究倫理教育の授業における実施について

* 資料3のとおり、学生に対する研究倫理教育の授業における実施について提案。

- 学生の研究者倫理に関する規範意識を徹底していくため、学生に対する研究倫理教育の実施

を推進するもの。既存の科目に組み入れることが可能なら 30 年度から実施し、遅くとも 31 年度には実施したい。

- 各科目においてどの程度時間を取るべきか。大学としてのガイドラインは作るのか。
- ガイドラインは策定する予定がない。学部と大学院でも違うと思う。それぞれの科目の特性に応じてシラバスに明示する方向で考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 平成 30 年度サバティカル取得申請にかかる結果報告について、資料 4 のとおり、報告があった。
- ② 平成 28 年度早期支援システム実施結果について、資料 5 のとおり、報告があった。
- ③ 次回の審議会を平成 29 年 11 月 7 日（火）に開催する予定である旨、報告があった。